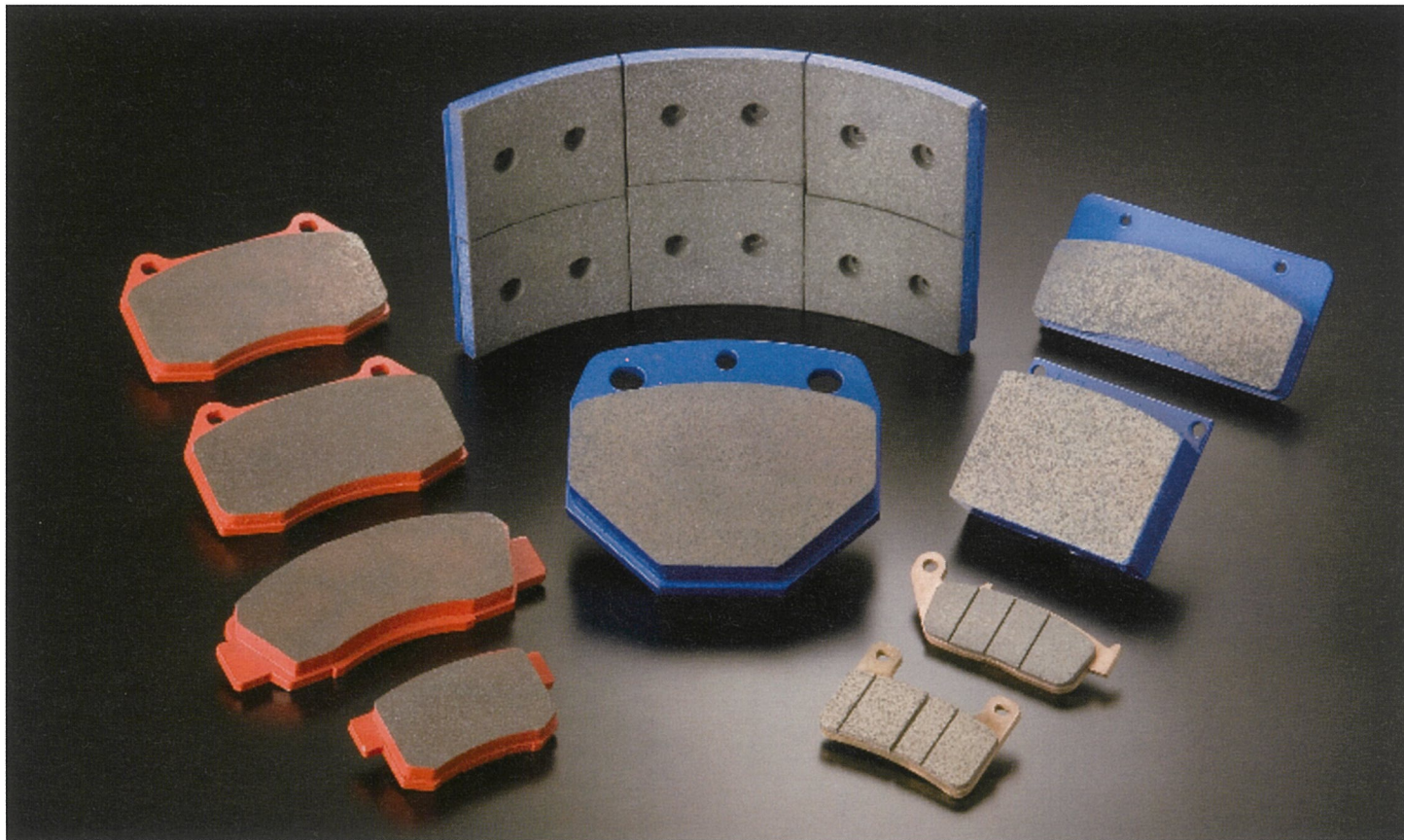


焼結摩擦材料



特徴

■高摩擦係数

特殊配合により、一般的なレジンモールド品では出し得ない高い効きを可能にします。

■フェード現象の発生がありません

金属基複合材料による高い耐熱性、安定性を維持し、高温でもブレーキング効果は低下しません。

■優れた耐摩耗性

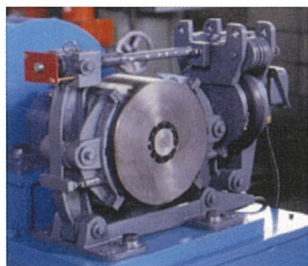
結合材、フィラーに有機物を含まないため、温度上昇による摩耗増加がありません。

■人体、環境に優しい

人体、及び環境に対して悪影響を及ぼす材料を使用していない、優れた性能を持つ焼結摩擦材です。

使用用途

◆産業機械用ブレーキ



◆四輪（レース用）



◆自転車(MTB)



◆二輪（レース用）



Creating Originality

株式会社

TYK

◆ ブレーキパッド 組成

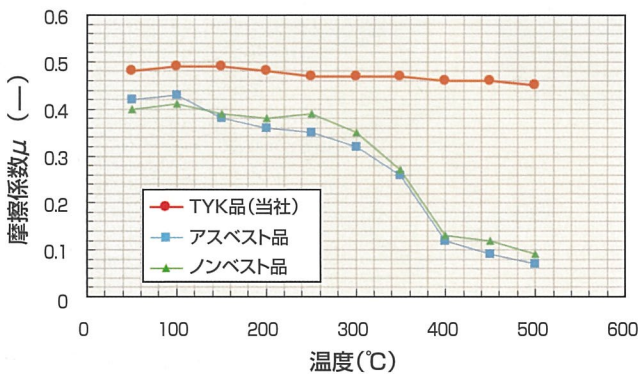
■ ブレーキ 組成比較

- アスベストなどの繊維状鉱物、およびフェノール樹脂を一切使用しておりません。

		メタル	レジン	レジン(アスベスト)
結合方式		金属による焼結	樹脂による結合	樹脂による結合
成分	金属	40~60	0~10	5~15
	セラミックス	20~30	10~20	10~20
	アスベスト	—	—	30~70
	無機繊維	—	5~30	—
	有機物	—	10~15	10~15
	潤滑剤	10~15	5~10	5~10
摩擦係数		0.2~0.7	0.2~0.5	0.2~0.5
結合方式		800℃	350℃	350℃

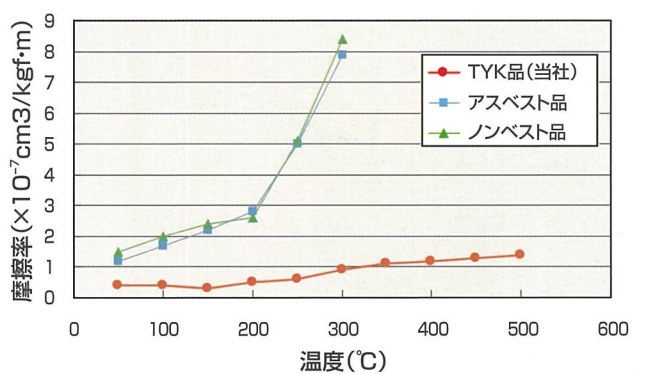
◆ 耐熱性に優れる ⇒ 安定性

■ ブレーキ温度と摩擦係数の関係



- 高温域でもフェード現象がありません。

■ ブレーキ温度と摩耗性の関係



- 高温域でも摩耗増大がありません。

◆ 耐摩耗性に優れる ⇒ 長寿命化

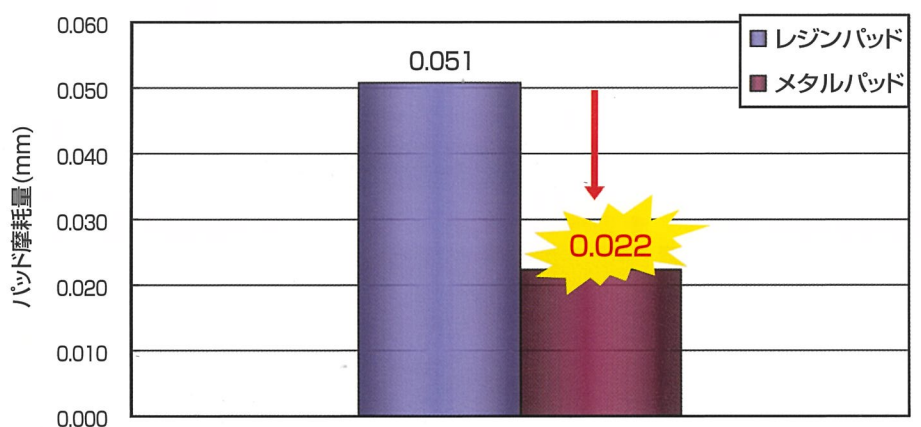
■ メタルパッドーレジンパッド 摩耗量比較テスト

- メタルパッド

約50%の摩耗低減*

メリット

- ・ 耐用UP
- ・ 交換頻度の低減



*過酷な使用状況を想定したベンチテストにおいての結果になります。